

① 学習指導案

プログラム	No.05 「地域カルタをつくろう」
単元名 (全 時間)	総合的な学習の時間 「魅力発見！地域調査隊～広幡の景観をカルタで紹介～」(全10時間)
学習のねらい	景観について学んだことを生かし、おすすめスポットをカルタにする活動を通して、地域の良さ、魅力を再発見させることで、児童の地域愛を育てる。
学習内容	1 景観について理解する。 2 地域を歩きながら、広幡地区おすすめの景観を探す。 3 見つけた景観をもとに「広幡カルタ」をつくる。 4 創立100周年記念式典でカルタをお披露目し、全校生で遊ぶ。
参考資料 準備品 実施場所等	No, 05 「地域カルタを作ろう」 タブレット、プリンター、写真用紙、色画用紙、厚紙 等 教室、体育館、広幡地区

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	・出前授業で景観について理解する。	・出前授業を受け、広幡のおすすめスポット(自慢の景観)を探すことに意欲をもたせる。	・興味・関心(観察)
6	・広幡のおすすめスポットを50個選定する。 ・選んだ景観をタブレットで撮影する。 ・撮影した写真から一番良く映ったものを選び、五十音を頭文字にしたキャッチフレーズを考えさせる。 ・カルタの読み札、取り札を作成する。	・地区内の良い景観について考える機会となるように見学を選定し、意欲をもたせる。 ・どんなふうに撮影すると、景観の良さが伝わるかを考えさせ、アドバイスする。 ・短い言葉で、景観の良さを伝える言葉を考えさせる。	・課題追求 (観察・写真)
2	・創立100周年記念式で完成した「広幡カルタ」を発表する。	・自分たちで作ったカルタを多くの方に見てもらうことで、達成感や充実感を味わわせる。	・活動への意欲・表現 (観察・写真)
1	・縦割り班ごとカルタ大会をする。	・地域の景観を楽しみながら、全員がカルタ大会を楽しめるように留意する。	・活動への意欲(観察)



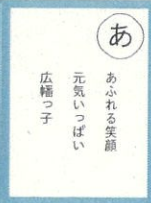

<留意点>

- ・広幡地区の良い経験を今後も大切にしたいと思えるような活動にする。
- ・統廃合による学校の閉校後も、100周年を記念してカルタをつくったことを思い出し、大人になっても語り合えるような活動にする。

② 事業実施報告書詳細

学校名 米沢市立広幡小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	教室	<p>◇出前授業(6/19)で景観について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山大工学部の高澤准教授をお招きし、まちづくりにおける景観の役割についてお聞きする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで知らなかった「景観」のことがよくわかった。 ・ 自分達の地域の景観についても調べたいという意欲が増した。
6	校外	<p>◇広幡のおすすめスポットを50個選定する。</p> <p>◇選んだ景観をタブレットで撮影する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車や徒歩で区内をめぐり、カルタの取り札に使う画像を撮影する。 ・ 「歴史街道サイクリング」で、地域の歴史に詳しい方を講師に招き神社や古墳などを見学したり、説明をお聞きしたりする。 <p>◇撮影した写真の中から一番良く映ったものを選び、五十音を頭文字にしたキャッチフレーズを考えさせる。</p> <p>◇カルタの読み札、取り札を作成する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の地区にあるおすすめスポットを紹介し合ったことで、改めて地区の良さについて気付くことができた。 ・ 「歴史街道サイクリング」で地域の歴史を知ったことで、自分たちの地域を誇りに思えるようになった。 ・ 実際に見学したり、インタビューしたりした経験が、地区の良さを読み札に表す経験に生かすことができた。

1	体育館	<p>◇創立100周年記念式典(11/20)で完成した「広幡カルタ」を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表用の大型カルタのほかに、全家庭に小型版のカルタを配付した。 	  	<ul style="list-style-type: none"> 式典に出席された来賓や地域の方々に大型カルタを使って広幡のよさを伝えることができた。 小型版カルタを家族や友達と楽しむことで、広幡の良さについて改めて考えるきっかけとなった。
1	体育館	<p>◇大型カルタを使い、縦割り班対抗カルタ大会(12/10)をする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> カルタ対決を楽しみながら、自分達で調べた地域の良さについて下学年にも知ってもらえたことで、満足感を得ることができた。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

地域の歴史に詳しい方に自転車で様々な場所を案内していただく地域探訪サイクリングとタイアップさせることで、子供達が各地区の良さをより実感できるようにした。おすすめスポットをタブレットで撮影するため、クラス全員で地区の様々な場所を歩くことで、今まで見過ごしていた景観に気付いたり、それぞれがお勧めする景観の違いに気づいたりできるようにした。また、創立記念式典に完成したカルタをお披露目することを目的としたことで、子供達が地区への愛情を改めて感じたり、この活動を次世代へと語り継ぐ第一歩としたりできるようにした。

(2) 実施にあたり苦労した点

住み慣れた地区の中で、いつも当たり前に見ているものの中に良い景観が存在していることに気付けない児童が多く、見る人が変わればそうしたものも良い景観となる意識付けが難しかった。地域が広く、3方面に分けて撮影に出かけたが、歩いていける場所に限りがあり、撮影できない場所もあった。休日、タブレットを持ち帰らせて、自宅近辺のおすすめスポットは可能な限り撮影させるようにしたが、場所によっては安全確保のため保護者の同伴が必須になった。

(3) 児童の反応

カルタづくりのため、おすすめスポットを50個集める活動では、地区の良さに改めて気付いている様子が印象的であった。景観の撮影のため地区を歩きながら、自分の住んでいる場所から遠い地区の様子を近所に住んでいる児童から聞くことで、今まで見過ごしてきた景色や建物が目に留まり、まだまだ自分の知らない地域の良さに気付くことができるなど学習を深めている様子が見られた。

「地域街道サイクリング」では、今まで知らなかった素敵な景観や名所に出会ったことで、自分たちが暮らす広幡への愛着がさらに強くなった。

完成した大型カルタを創立100周年の記念式典で発表したり、縦割り班対抗のカルタ大会をしたりしたことで、自分達の作ったカルタに関心をもってもらえることに充実感を感じているようだった。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

「広幡カルタ」を作ろうと決まった時から、通勤中でも景色を意識して地域を見るようになった。地域の人が地区特有の行事に参加している光景も景観と捉えている児童もいたので、「地域の花・桔梗の苗づくり」「夏祭り」「地区文化祭」などさまざまな地域の行事にも積極的に参加するようになった。また、その季節でしか見ることのできない生き物や植物、景色もあるので、今まで以上に自然愛護の心情が深まった。

カルタづくりを通して、初めて知った場所がたくさんあり、実際にそこに行ってみたり歴史を調べてみたりしたことで、地域のことを深く知ることができた。他の学年の先生方も地域学習に取り組んでおり、お互い知っている情報を交流するなど高め合うことができた。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

これまでカルタづくりのために、集めた素材や情報を生かして、もっとたくさんの人に広幡の良さを知ってもらえる方法はないかと問いかけたところ、国語で作り方を学んだパンフレット形式で伝えたいということになった。

パンフレット作成にあたってはカルタでは伝えきれなかった情報を詳しく載せること、地区外の人に広幡のよさが伝わるように書くことなど目的意識、相手意識をもたせることに留意したい。